

<全体分析>

試験時間 80 分

解答形式

長文総合問題3題, 2つの設問からなる自由英作文1題

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

長文総合問題3題と自由英作文1題, 長文総合問題は大問のIとIIが論説文で, 大問IIIが小説文という出題形式は例年通りである。総ワード数は1,600語前後の出題が続いていたが, 昨年度はおよそ1,900語, 今年はさらに増加し2,000語近くに達した。昨年同様, 解答の根拠が見だしにくい設問がいくつかあった上に, 下線部和訳はかなり複雑であり, 受験生にとっての負担は増えたと思われる。

出題の特徴や昨年との変更点

大問IVの英作文の配点は一昨年から25点が続いている。

大問それぞれの記述量は昨年度よりも減少。

その他トピックス

特になし

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	読解総合 (695words)	「意義ある人生について」	問1は(c)が紛らわしい設問である。accounted forの字義通りの意味は(i)だが, 文脈上の意味を考えると, ここでは(e)を選ぶことが求められていると思われる。問1の他の4つの設問は比較的平易な設問であり, なおのこと混乱した受験生も多かったと思われる。 出典 Joshua Hicks, Frank Martela: <i>A New Dimension to a Meaningful Life</i>	やや難
II	読解総合 (690words)	「水資源についての報告書」	問3はThe situationの内容を明らかにした上で訳すことが求められている。不自然な日本語にならないように配慮する必要がある。 問5の意図されている正解は(i)(お)だと思われるが, (i)については疑問の余地が残る。第3パラグラフでは「blue waterの70%が農業に用いられている」とあり, 第2パラグラフに「淡水はblue waterとgreen waterからなり, green waterの占める割合は55%~80%だ」という主旨の記述があるので, 淡水に占めるblue waterの割合は20%~45%になると解釈するのが自然だと思われる。そうすると(i)の「地球の淡水の半分以上」という記述ははたして適切だろうか。 出典 “Water” from <i>Agriculture at a Crossroads – Findings and recommendations for future farming</i>	やや難

			<p>【3月8日追記】 大問Ⅱ問5については3月6日に神戸大学からこの設問について、「二つの正答のうち、一つは本文の記述から導き出すことができないことが判明」「正答を導き出せない選択肢について全員に加点する」という発表があった。</p>	
III	読解総合 (589words)	「ドライブに向かうルーシーたちの会話」	<p>出典はカズオ・イシグロの「クララとお日さま」だが、登場人物の名前が Josie は Lucy に、Klara は Kristi にあらためられている。近未来を舞台とした小説で、Klara は病気がちの少女 Josie に献身的に仕える AF(人工親友)と呼ばれる AI ロボットだが、ここでは Kristi は Lucy の友人という設定になっている。友人という設定だと、ちょっと理解しにくい会話のやりとりだったのではないだろうか。</p> <p>問1は会話のやりとりの中での this の指示内容を把握し、そのときの話者の心理を推測することが求められている。言葉の表面上の意味ではなく、その背後にある言葉の真意が理解できているかを問うというのは、かなりの難問だろう。</p> <p>特に問1の(b)は極めて紛らわしい問題含みの設問だと思われる。原典では下線部(b)の前にある数行のパスセージがここでは省略されている。原典を読むならば解答は(a)であると導くことができるが、ここでは(i)を完全に排除できるだろうか。</p> <p>問2は(a)と(i)で迷った受験生も多いと思われる。これも紛らわしい設問である。</p> <p>問3の下線部訳の後半の not telling anyone の解釈も難しい。</p> <p>出典 Kazuo Ishiguro: <i>Klara and the Sun</i></p> <p>【3月8日追記】 大問Ⅲ問3 下線部(2)の第2文は会話の中でのやりとりである。そのため、文法上の確定的な解釈は困難であり、また必ずしも必要であるとは思われないが、2通りの解釈が可能だと考えられる。</p> <p>not telling anyone の後で、前文にある is your fault が省略されていると取ることもできるし、not telling anyone は、その後の Keeping it to yourself this way とほぼ同じことを言っていると考え、ここはいわば体言止めのような形になっている名詞表現と取ることもできる。</p> <p>どちらの読み方を取るかで、 「具合が悪いのはあなたの落ち度ではないわ。でも誰にも言わないのはあなたの落ち度よ」 「具合が悪いのはあなたの落ち度ではないわ。でも誰にも言わないのはね」 と訳出には2つの方向がありうる。</p> <p>結局はどちらの訳も同じことを言っているとは言えるが、河合塾からの確認の意味での質問に対して、神戸大学からは「(採点については)ある程度の幅をもって見ております」という回答をいただいた。</p>	やや難

IV	英作文		<p>(1)は「スマホ依存症」についての定義を 40 語程度にまとめることが求められている。スマホ依存症について簡潔に定義し、それに補足説明を加えるという形で2文程度にまとめることよ。</p> <p>(2)は「スマートフォンが今日の日本の学生に及ぼしている<u>マイナスの影響</u>」を問うアンケートにおいて、どのような回答があったと考えられるかを推測し、60 語程度で書くことが求められている。設問の意図を読み違えていると、見当違いの解答になってしまう可能性があるので注意したい。</p>	標準
----	-----	--	--	----

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

問題形式は例年通りで、600 語前後の英語長文が3題、そして2問構成の自由英作文が1題という形式の出題となった。

下線部和訳、内容説明、空所補充、自由英作文など出題形式はきわめて多彩であり、こうした形式に対処する能力を養うためには、一步一步地道な学習を続ける以外に近道はない。文法や構文を習得する、単語や熟語を覚える、問題演習を繰り返す、復習を欠かさないなど、「オーソドックスな学習」を継続することが神大合格につながるはずである。

ただ一方で、設問の出題形式において明らかな変化が見られるのも事実である。

昨年度の大問Ⅱ問1は、神戸大学が「受験生全員の解答を正解として扱う」としたが、「英文の内容を理解した上で、英文中の1つの概念について想像力も働かせながら、設問に答えていく」という新しい視点の出題だった。今年度の大問Ⅰ問2が同じような切り口の出題だと言えるだろう。出題する側にとっても **challenging** な設問だと思われるが、今後ともこの形の出題は続く可能性が高い。受験生は設問の意図をしっかり理解する必要がある。

大問Ⅲ問1は会話の中での **this** の指示内容を理解した上で、発話者の心理を読み取り、発言の真意をつかみ取ることを求めている。英文を頭の中で逐語訳するだけではこのような設問には対処できない。柔軟な想像力と思考力が求められるのだ。

このような新傾向の問題にもしっかり目を向け対策を立てた上で、地道な努力を続けて欲しい。

長文総合問題では、パラグラフのメッセージを大きくつかみながら、長文をスピーディーに読み解いていく能力と、一文一文丁寧に構文をたどりながら精読していく能力とが共に必要である。単語や文法・構文をこつこつと学んでいく地道な努力と、長文総合問題を限られた時間内で解いていく実践的な練習とを併行して進めていこう。下線部和訳や内容説明などの記述力を要求される設問の比重が大きく、ここでの出来が合否に大きく影響するはずである。日頃の学習においても「頭の中で解答する」だけではなく、きちんとノートに書くことを心がけよう。下線部和訳は、かつてのような複雑な構文や難解な単語を含む英文の訳出ではなく、前後の文脈と論理の流れを踏まえた上での訳出が必要な英文の訳出へと傾向は変わりつつあることも留意しておきたい。

内容説明問題の質的な変化にも注目する必要がある。これまでのように指示内容の当該箇所を見つけだし、それを訳出するだけでは十分ではない。書かれているメッセージの真意を前後関係から読み取って、分かりやすい日本語でまとめることが求められている。このような出題が今後は増えていくと思われる。

英作文は自由英作文の出題が続いている。自由英作文はどのような内容を書くかを考えすぎると、いたずらに時間を取られてしまう恐れがある。神戸大学が求めているのは「シンプルな英語でオーソドックスな議論を英語らしい展開で書くこと」だと思われる。普通の発想の平凡な内容で構わない。文と文のつながり、パラグラフのまとまりを意識して英文を組み立てていこう。設問の意図を読み違えてしまうと、まったく得点が発生しないという事態になりかねないので慎重に設問を読み、見当違いの解答にならないよう注意して欲しい。配点は25点で相対的にはそれほど高くはない。ここでいたずらに時間を浪費してはならない。時間配分を考慮して戦略的な解答作成を常日頃から心がけたい。